

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-200311

(P2014-200311A)

(43) 公開日 平成26年10月27日(2014.10.27)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 H 33/12 (2006.01)	A 6 1 H 33/12 A	4 C 0 9 4
A 4 5 D 44/22 (2006.01)	A 4 5 D 44/22 Z	
A 6 1 H 33/02 (2006.01)	A 6 1 H 33/02 A	

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2013-76020 (P2013-76020)
 (22) 出願日 平成25年4月1日(2013.4.1)

(71) 出願人 504118276
 株式会社遊気創健美倶楽部
 大阪府大阪市北区梅田一丁目1番3-24
 OO 大阪駅前第3ビル24階

(71) 出願人 509219073
 株式会社リード
 大阪府大阪市平野区加美南2丁目3-1

(72) 発明者 福田 加代美
 大阪市北区梅田1丁目1番3-2400号
 大阪駅前第3ビル24階
 株式会社遊気
 創健美倶楽部内

最終頁に続く

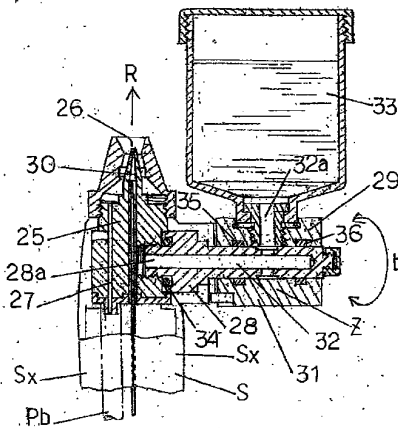
(54) 【発明の名称】 美顔器における炭酸ガス噴出用スプレー

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 スプレー本体を所望の角度に傾けて操作した場合において、カップ内の化粧水が伴って傾き、内部の空気が炭酸ガスと共に噴出する。

【解決手段】 化粧水をカップ33に収納し、炭酸ガス供給用ポンベから可撓性ホースPを介して導かれた炭酸ガスをスプレー本体Sの先端噴出ノズル26から噴出させてカップ内の化粧水と共に、炭酸混合化粧水を霧状に噴射する美顔器具で、スプレー本体は、ポンベ収納ボックスから導き出した可撓性ホースを引込む握手部Saと、握手部内を経た炭酸ガスを流入すると共に、先端ノズルから炭酸ガスを噴出するガス噴出用ヘッド部と、ガス噴出用ヘッド部の近傍に装備し、炭酸ガスの噴出に伴い収納された化粧水が炭酸混合化粧水として霧状に噴射される化粧水収納カップと、化粧水収納カップの送出口とガス噴出用ヘッド部の先端ノズルとの間隔を、一定間隔状態を維持しつつ化粧水収納カップを回転させる回転機構部Zとで成した。

【選択図】 図5



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

所定量の化粧水をカップに収納し、且つ炭酸ガス供給用ポンベから可撓性ホースを介して導かれた炭酸ガスをスプレー本体の先端噴出ノズルから噴出させて前記カップ内の化粧水と共に、炭酸混合化粧水を霧状に噴射する様にした美顔器具に於いて、前記スプレー本体は、

- (1) ポンベ収納ボックスから導き出した可撓性ホースを引込む握手部と、
- (2) 該握手部内を経た炭酸ガスを流入すると共に、先端ノズルから炭酸ガスを噴出するガス噴出用ヘッド部と、
- (3) 該ガス噴出用ヘッド部の近傍に装備されると共に、炭酸ガスの噴出に伴い収納された化粧水が炭酸混合化粧水として霧状に噴射される化粧水収納カップと、
- (4) 該化粧水収納カップの送出口とガス噴出用ヘッド部の先端ノズルとの間隔を、一定間隔状態を維持しつつ化粧水収納カップを回動させる回動機構部と
- (5) で成したことを特徴とする美顔器における炭酸ガス噴出用スプレー。

10

【請求項 2】

前記回動機構部は、ガス噴出用ヘッド部の側面で、而もガス噴出方向に対し直交して突出すると共に、先端に化粧水収納カップを回動自在に装着した継手部より成り、化粧水収納カップの化粧水送出口、継手部の内孔、ガス噴出用ヘッド部とを連通したことを特徴とする請求項 1 記載の美顔器における炭酸ガス噴出用スプレー。

20

【請求項 3】

前記回動機構部は、ガス噴出用ヘッド部の側面で、而もガス噴出方向に対し直交して突出する様、第 1 継手部の基部を螺着させて該第 1 継手部の内孔とガス噴出用ヘッド部のガス流通内孔とを連通させ、更に前記第 1 継手部の先端に回動自在に第 2 継手部を装着して第 2 継手部の内孔を該第 1 継手の内孔と連通させ、この第 2 継手部に化粧水収納カップをガス噴出方向に対し、平行して回動自在に装備して化粧水収納カップの化粧水送出口を前記第 2 継手部の内孔、第 1 継手部の内孔、ガス噴出用ヘッド部のガス流通内孔とに連通させたことを特徴とする請求項 1 記載の美顔器における炭酸ガス噴出用スプレー。

【請求項 4】

前記回動機構部は、ガス噴出用ヘッド部の前部で、而もガス噴出方向に対し同軸に回転する様装備されたホルダーより成り、該ホルダーに備えられた化粧水収納カップの化粧水送出口がガス噴出用ヘッド部の先端ノズルに対峙したことを特徴とする請求項 1 記載の美顔器における炭酸ガス噴出用スプレー。

30

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は化粧水と炭酸ガスとの混合液を顔肌等に噴霧状に吹き付ける美顔器における炭酸ガス噴出用スプレーに関する。

【背景技術】**【0002】**

一般的に、炭酸成分が皮膚下の毛細血管に作用してこの毛細血管を拡張させる効果を利用し、化粧水と共に混合液を顔肌等に吹き付けると共に、皮脂や汚れ等の残骸物を顔肌から遊離させて取り除き、より若々しく美しい顔肌を指向する社会的ウオントが顕在化している。そこで、これらに関連する多くの技術文献 1 ~ 4 が存在し、炭酸ガスポンベとガス噴出ノズルとを機械的に直結、即ちスプレー本体内にガスポンベを収納し、スプレー本体そのものを手元にて持上げ操作し、混合化粧水をガスと共に噴射させている。

40

【0003】

然しながら、美顔器の使用は主に女性であることから、約 300 g からの炭酸ガスポンベを含め相応の重さの美顔器を片手で顔面の高さまで持ち上げての使用は、些か現実にそぐわない。そこで、本願発明者の一人が創作活動の一翼を担って技術文献 5 に示す美顔器の製品化に結び付け、更には改良を重ね、技術文献 6、7 に示す美顔器を創出した。

50

これらは、炭酸ガスポンペを収納するボックスと手元にて操作するスプレーとを分離して両者を可撓性ホースにて接続すると共に、炭酸ガスポンペの収納ボックスは化粧台等に直立着座させたままで、スプレーを軽快に操作することとしている。

【0004】

而して、更なる商品の利便性を探求すると共に、企図することとし、スプレー本体を所望の角度に傾けて操作すると、カップ内の化粧水が満杯の場合は問題ないが、化粧水の残存量が少なくなると、そのスプレー本体の傾きに追隨して化粧水も傾き、内部の空気が炭酸ガスと共に噴出することとなった。

【先行技術文献】

【特許文献】

10

【0005】

【特許文献1】実用新案出願公告昭63-48265号

【特許文献2】特開2000-197519号

【特許文献3】特開平5-238928号

【特許文献4】特開2003-54662号

【特許文献5】特許第4277306号

【特許文献6】実用新案登録第3136465号

【特許文献7】特許第4871937号

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

20

【0006】

本発明は、スプレー本体を所望の角度に傾けて操作した場合においても、カップ内の化粧水が伴って傾き、内部の空気が炭酸ガスと共に噴出することの課題を解決する。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明は、所定量の化粧水をカップに収納し、且つ炭酸ガス供給用ポンペから可撓性ホースを介して導かれた炭酸ガスをスプレー本体の先端噴出ノズルから噴出させて前記カップ内の化粧水と共に、炭酸混合化粧水を霧状に噴射する様にした美顔器具に於いて、前記スプレー本体は、

- (1) ポンペ収納ボックスから導き出した可撓性ホースを引込む握手部と、
- (2) 該握手部内を経た炭酸ガスを流入すると共に、先端ノズルから炭酸ガスを噴出するガス噴出用ヘッド部と、
- (3) 該ガス噴出用ヘッド部の近傍に装備されると共に、炭酸ガスの噴出に伴い収納された化粧水が炭酸混合化粧水として霧状に噴射される化粧水収納カップと、
- (4) 該化粧水収納カップの送出口とガス噴出用ヘッド部の先端ノズルとの間隔を、一定間隔状態を維持しつつ化粧水収納カップを回動させる回動機構部と
- (5) で成したことを特徴とするものである。

30

【0008】

更に本発明は、前記回動機構部は、ガス噴出用ヘッド部の側面で、而もガス噴出方向に対し直交して突出すると共に、先端に化粧水収納カップを回動自在に装着した継手部より成り、化粧水収納カップの化粧水送出口、継手部の内孔、ガス噴出用ヘッド部とを連通したことを特徴とするものである。

40

【0009】

更に本発明は、前記回動機構部は、ガス噴出用ヘッド部の側面で、而もガス噴出方向に対し直交して突出する様、第1継手部の基部を螺着させて該第1継手部の内孔とガス噴出用ヘッド部のガス流通内孔とを連通させ、更に前記第1継手部の先端に回動自在に第2継手部を装着して第2継手部の内孔を該第1継手の内孔と連通させ、この第2継手部に化粧水収納カップをガス噴出方向に対し、平行して回動自在に装備して化粧水収納カップの化粧水送出口を前記第2継手部の内孔、第1継手部の内孔、ガス噴出用ヘッド部のガス流通内孔とに連通させたことを特徴とするものである。

50

【 0 0 1 0 】

又本発明は、前記回動機構部は、ガス噴出用ヘッド部の前部で、而もガス噴出方向に対し同軸に回転する様装備されたホルダーより成り、該ホルダーに備えられた化粧水収納カップの化粧水送出口がガス噴出用ヘッド部の先端ノズルに対峙したことを特徴とするものである。

【 発明の効果 】

【 0 0 1 1 】

(1) 請求項 1 により、スプレー本体を所望の角度、即ち傾けて操作する場合、化粧カップを所望の角度に回動して調整し、残存化粧水量が少なくなることに伴う空気の噴出を軽減できる。

10

【 0 0 1 2 】

(2) 請求項 2 により、化粧水収納カップをガス噴出用ヘッド部の側面に沿わせて回動自在に装着しているので上下方向に装着しているものに比し、嵩張らない。

(3) 請求項 3 により、化粧水収納カップを回動操作する手先の力が第 1 継手部と第 2 継手部との間で絶たれており、直接ガス噴出用ヘッド部に加わず、ガス漏れ等のトラブルを防止する。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 3 】

【 図 1 】 美顔器の使用状態を示す斜視図

【 図 2 】 美顔器を収納箱に収納した斜視図

20

【 図 3 】 直立型ポンベ収納ボックスの断面図

【 図 4 】 スプレー本体の断面図

【 図 5 】 同上の部分拡大断面図

【 図 6 】 同上の分解斜視図

【 図 7 】 異なる実施例を示す斜視図

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 4 】

以下本発明を実施形態の図面に基づいて説明する。図 1 は美顔器の使用状態を示す斜視図であって、使用者が手先 H にてスプレー本体 S の握手部 S a を保持している。図 2 はスプレー本体 S、直立型ポンベ収納ボックス X、可撓性ホース P を収納箱 Y に夫々収納した状態を示している。

30

而して、図 3 は、直立型ポンベ収納ボックス X の内部構造を示す断面図であって、上側筒体 1 に装填された炭酸ガス供給用ポンベ B の食出し部 B a を下側筒体 2 に収納した状態を示している。

【 0 0 1 5 】

具体的には炭酸ガス供給用ポンベ B の上端噴出口頭部 3 に形成されたネジ 4 を上側筒体 1 のソケット部 5 のネジ孔 6 に捻じ込む。

このソケット部 5 は上側筒体 1 の内筒 7 に装備されており、内筒 7 は上側筒体 1 の下開口 1 a より挿入されて圧入装備され、一体化される。

従って、炭酸ガス供給用ポンベ B の上端噴出口頭部 3 は隠蔽されて外部に触れない状態で該炭酸ガス供給用ポンベ B は図 3 に示す如く、食出し部 B a を下側筒体 2 に収納され、食出し部 B a が下側筒体 2 の底部 2 a から浮いた状態で装填される。

40

【 0 0 1 6 】

ソケット部 5 のネジ孔 6 には炭酸ガス供給用ポンベ B の上端噴出口頭部 3 の上部に対峙してノズル部 8 が螺着されている。

【 0 0 1 7 】

このノズル部 8 は、噴出用管 9 を備えており、この噴出用管 9 が炭酸ガス供給用ポンベ B を捻じ込んだ際、その噴出口頭部 3 の封印膜 3 a に貫通し、炭酸ガス供給用ポンベからの噴出ガスを噴出用管 9、内孔 1 0、ノズル 1 1 に亘ってガス流路を形成する。

而して、ノズル部 8 の内孔 1 0 には上下動する弁杆 1 2 を挿通しており、常に第 2 バネ

50

13にて上方向に弾圧されており、この弁杆12の上下動によってノズル11の開閉を行う。

【0018】

上側筒体1の上部面1bには一方向および反対方向に水平回転する様、炭酸ガス噴出調整用の円形調整用摘子14が位置しており、該円形調整用摘子14の内側面には雌ネジ15を形成し、上側筒体1の上部面1bに、該上側筒体1の外径より小径のボス16を直立させ、該ボス16の外周に雄ネジ17を形成して、円形調整用摘子14の雌ネジ15と螺合し、該円形調整用摘子14は、その回転によって上下動する。

円形調整用摘子14からは押圧杆18が垂下しており、その下端が弁杆12の上端に当接しており、円形調整用摘子14は第1パネ19にて常に上方向に弾圧されている。

10

勿論、第1パネ19と第2パネ13のパネ圧力は、その機能目的から第1パネ19を強くしている。

【0019】

而して、円形調整用摘子14の雌ネジ15と上側筒体1の雄ネジ17とは螺合、即ち、円形調整用摘子14の雌ネジ15の回転には、少なくともギャップ(空隙)を要し、そのギャップによって弁杆12と押圧杆18との接圧がバラ付くことを考慮し、ガス漏れが生じない様に、常に押圧杆18が弁杆12を弾圧させることとしている。

これは、前記ソケット部5のネジ孔6に炭酸ガス供給用ポンベBの上端噴出口頭部3との螺着との文言を敢えて異にしている所以である。

而して図4は、スプレー本体Sの具体例を示し、縦方向に分割された前後カバーSxより成っている。

20

而して、ポンベ収納ボックスXの側面Xaから導き出された可撓性ホースPが握手部Saの内部Sbに引込まれ、ガスケット20にと接続される。

【0020】

可撓性ホースPは、引込口金21に接続され、更に中継用パイプPaを介してガスケット20に接続される。

このガスケット20は、弁機構20aを有し、スプレー本体Sに反転自在に軸支持された操作部22にて弁機構20aを動作させ、中継用パイプPaからの炭酸ガスの送出、停止を操作する。

尚、操作部22は軸23にて支持され、軸23に備えられたコイルパネ24にて矢印aの方向に付勢されており、操作部22を指先にて引くことによって、矢印aと反対方向に反転させ、操作部22の下縁22aが弁機構20aの弁杆20bを押し下げ、炭酸ガスが送出される。

30

【0021】

更に弁機構20aの送出口20cには送出用パイプPbの一端が接続されており、他端がガス噴出用ヘッド部25に接続されており、先端ノズル26から操作部22の操作によって炭酸ガスが噴出することとなり、ガス噴出用ヘッド部25は、図5に示す如く送出用パイプPbがガス噴出用細孔27に接続されている。

而して、ガス噴出用ヘッド部25の側面にはガス噴出方向Rに対し直交して突出する第1継手部28の基部28aがネジ孔25aに螺着しており、該第1継手部28の内孔29とガス噴出用ヘッド部25のガス流通内孔30とを連通させている。この第1継手部28は軸状に形成され、その先端には第2継手部31が挿入されて回動自在に装着されており、第2継手部31の内孔32と該第1継手28の内孔29とが連通している。

40

【0022】

第2継手部31には直交、即ちガス噴出方向Rに対し平行して矢印aに示す如く、一定角度回動自在に化粧水収納カップ33を装備している。

具体的には、第2継手部31のネジ孔31aに化粧水収納カップ33の送出口33aを螺着し、化粧水収納カップ33の化粧水送出口33aを前記第2継手部31の内孔31b、第1継手部28の内孔28a、ガス噴出用ヘッド部25のガス流通内孔30にと夫々に亘って連通させている。

50

これら第1継手部28、第2継手部31にて回動機構部Zを構成し、回動機構部Zには適宜パッキン34、35、36が配されている。

【0023】

而して、スプレー本体Sを所望の角度に傾けて操作した場合、仮に化粧水収納カップ33内の化粧水残存量が少ないと気づけば、その化粧水収納カップ33を適宜回動して、化粧水と炭酸ガスとを適正に混合して噴出することができる。

【0024】

図7は異なる実施例を示し、ガス噴出用ヘッド部25の前部に化粧水収納カップ33を位置させ、而もガス噴出方向Rに対し直交する様、化粧水送出口33aを近接して対峙させ、操作部22を押圧操作すればガス噴出によって、化粧水収納カップ33内の化粧水を引き寄せる形式（吸い上げ形式）としている。

10

而して、化粧水収納カップ33はガス噴出用ヘッド部25の近傍に回動自在に装備されたホルダー37によって保持されており、先端ノズル26と一定間隔状態を維持しつつ化粧水収納カップ33が回動することとしている。

即ち、炭酸ガスとの混合化粧水を最終的に腕、足、身体の肌面へ霧状に噴射すればよいのであって、特に限定するものではない。

【符号の説明】

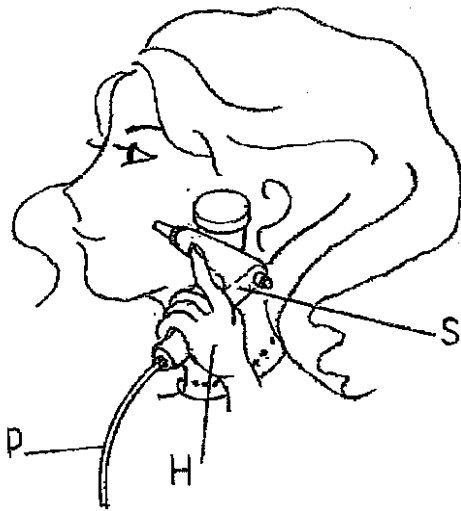
【0025】

- S スプレー本体
- S a 握手部
- P 可撓性ホース
- B 炭酸ガス供給用ポンベ
- X 直立型ポンベ収納ボックス
- Z 回動機構部
- 1 上側筒体
- 2 下側筒体
- 14 円形調整用摘子
- 25 ガス噴出用ヘッド部
- 26 先端ノズル
- 28 第1継手部
- 29 内孔
- 30 ガス流通内孔
- 31 第2継手部
- 32 内孔
- 33 化粧水収納カップ

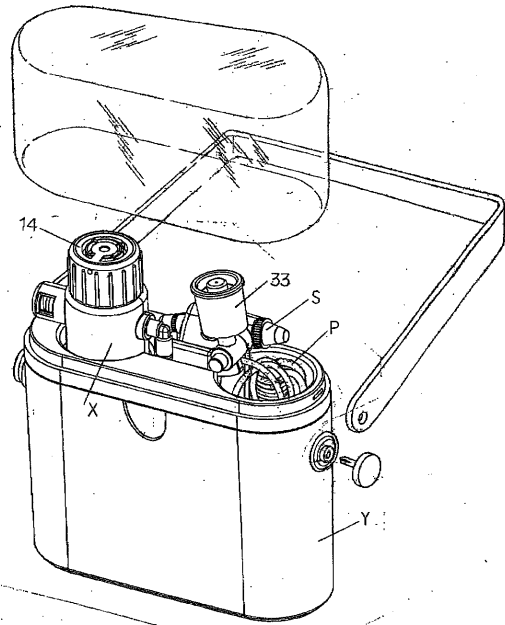
20

30

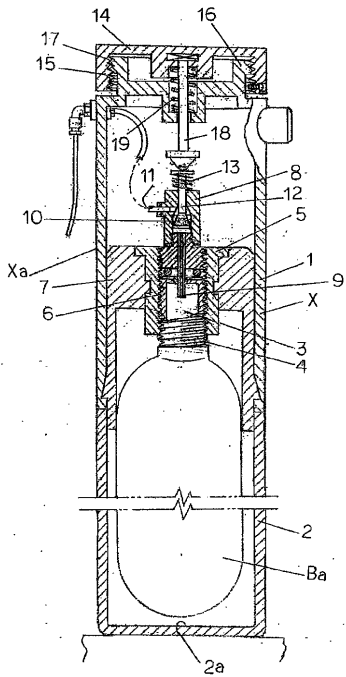
【 図 1 】



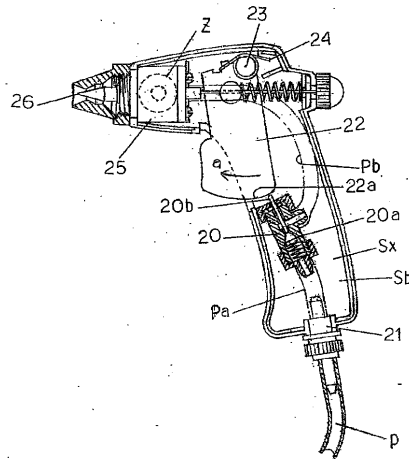
【 図 2 】



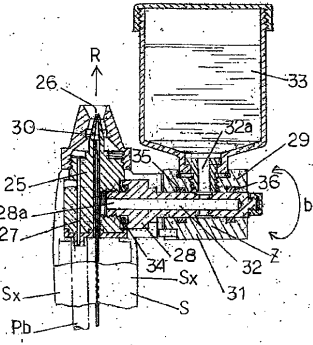
【 図 3 】



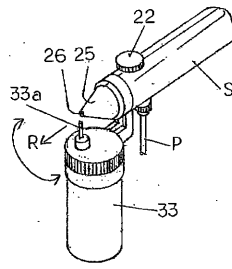
【 図 4 】



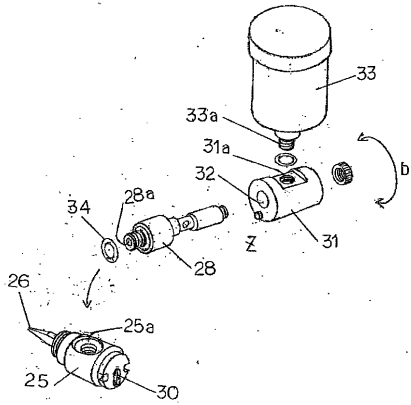
【 図 5 】



【 図 7 】



【 図 6 】



フロントページの続き

- (72)発明者 清水 和彦
大阪市北区梅田1丁目1番3-2400号
3ビル24階
大阪駅前第
株式会社遊気創健美倶楽部内
- (72)発明者 井上 智広
大阪市平野区加美南2丁目3番3-1号
内
株式会社リード
- (72)発明者 芦北 元気
大阪市平野区加美南2丁目3番3-1号
内
株式会社リード
- Fターム(参考) 4C094 AA02 DD06 DD12 GG06